

IV. 一般演題 口頭発表 (★マークは優秀発表賞審査対象演題)

物理系薬学① A 会場(731 教室)

9:00~10:24

座長 三熊敏靖(日本薬大)、江川祐哉(城西大)

A-1 生理的 pH におけるベンゾオキサボロール修飾アルギン酸ヒドロゲルの調製

○三木涼太郎^{1,2}、味知茉莉子²、八巻努²、内田昌希²、夏目秀視²(¹横浜薬大、²城西大薬)

A-2 ★Cyclosporine A 非晶質ナノ粒子の温度依存的な形態変化評価

○鳴坂花菜、植田圭祐、東 颯二郎、森部 久仁一 (千葉大院薬)

A-3 ★Acetaminophen 封入が poloxamer 407 ミセルの構造に及ぼす影響の評価

○齋藤 美波、植田 圭祐、東颯二郎、森部久仁一 (千葉大院薬)

A-4 ★LC-MS/MS を用いた D-チロシン経口投与マウスの動態解析

○渡辺 歩未¹、矢部 智也¹、伊藤 里恵¹、岩崎 雄介¹、穂山 浩^{1,2} (¹星薬大、²国立衛研)

A-5 ★アレンドロン酸の皮膚透過性評価のための高感度分析方法の開発

○矢部智也¹、伊藤里恵¹、岩崎雄介¹、穂山浩^{1,2} (¹星薬大、²国立衛研)

A-6 ★線維芽細胞活性化タンパク質を標的とした新規 α 線治療薬剤の開発

○太田智之¹、菅原一真¹、甘中健登¹、鈴木博元¹、高橋和弘²、上原知也¹
(¹千葉大院薬 ²福島県立医大)

A-7 ★アミロイド線維の銅誘発酸化ストレス促進機序

○栗原卓巳¹、青柳理沙²、英咲希²、黒田沙紀²、金子心海²、三浦隆史^{1,2}
(¹国際医福大院薬、²国際医福大薬)

化学系薬学① A 会場(731 教室)

10:24~11:36

座長 叶 直樹(星薬大)、大多和正樹(立教大理)

A-1 ★ラクトン環含有二環性イリドイド配糖体の全合成研究

○布施侑叶、楽満憲太、北島満里子、石川勇人 (千葉大院薬)

A-2 ★Antheridiogen-An の合成研究

○藤原 壮一郎、金子 聡、長澤 心、松永 和磨、岸田 敦、長岡 博人、高取 和彦 (明治薬大)

A-3 ★Brianthein W の合成研究

○宮田一功、笠井香瑚、宮松壱成、沼田祐太郎、地引佑一、松永和磨、岸田敦、高取和彦
(明治薬大)

A-4 ★光学活性ベルガモタンセスキテルペンの合成研究

○高瀬帆乃佳、六川文裕、松永和磨、岸田敦、高取和彦 (明治薬大)

A-5 ★位置選択的なヨード環化反応を利用した PF1140 類の合成研究

○鈴木隆介、平井潤也、長光 亨 (北里大薬)

A-6 ★トリシンリン A の全合成研究

○有瀧陽夏、萩原浩一、井上将行 (東大院薬)

化学系薬学② B 会場(732 教室)

9:00~10:24

座長 大江知之(慶應大薬)、林 良雄(東薬大)

B-7 ★超硫黄分子による PPAR $\alpha/\delta/\gamma$ サブタイプの熱安定性変化評価

○橋本拓実、今野翼、本多彰宏、上茶谷若、鎌田祥太郎、鶴木隆光、菱木貴子、石井功
(昭和薬科大学・衛生化学)

B-8 ★hLF-HSA のヒト肺腺がん細胞増殖抑制における新たな機序の可能性

○鈴木涼介、木村将大、佐藤淳
(東京工科大学大学院 バイオ・情報メディア研究科バイオニクス専攻)

B-9 ★Brd4 分解誘導剤 MZ1 の含二置換ピリジン誘導体の合成と活性評価

○太田将翔¹、黄一帆²、村田舞¹、金田利夫¹、池内和忠^{1,3}、森田博史¹、大竹史明^{1,4}、
叶直樹^{1,3} (¹星薬大、²星薬大院薬、³星薬大医薬研、⁴星薬大先端研)

B-10 ★パラトーススを誘導するカリックス[4]アレーン-ペプチドハイブリッドの設計・合成及び活性評価

○関口 紗希¹、上田 大貴¹、東條 敏史¹、青木 伸^{1,2,3} (¹東京理大薬、²東京理大生命研、
³東京理大総合研)

B-11 ★新規グリコシルドナー/アクセプター分子を用いる環状オリゴ糖の One-Pot 合成
○山田竜也¹、石上剛大¹、東條敏史¹、山田泰之²、青木伸^{1,3,4}
(¹東京理大院薬、²名大物質科学国際研セ、³東京理大総合研究院、⁴東京理大生命研)

B-12 大環状ポリアミン型中性子捕捉療法用薬剤の抗がん活性評価
○上田大貴¹、鈴木実²、櫻井良憲²、青木伸^{1,3} (¹東京理大薬、²京大複合研、³東京理大総研)

B-13 ★ビスホウ素化大環状ポリアミン型 BNCT 用キャリアの設計・合成と活性評価
○吉田 和佳奈¹、上田 大貴¹、田中 智博²、東條敏史¹、櫻井 良憲³、鈴木 実³、青木 伸^{1,4}
(¹東京理大薬、²岡山大院医歯薬、³京大複合研、⁴東京理大総研)

化学系薬学③ B 会場(732 教室)

10:24~11:24

座長 長光 亨(北里大薬)、阿部秀樹(日本女子大理)

B-14 ★構造対称性に基づく STING 阻害剤の設計
○寺内瞳^{1,3}、戸板太陽²、小沼剛²、原英樹⁴、辻巖一郎³、石田祥一²、浴本亨²、
池口 満徳²、寺山 慧²、出水 庸介^{1,2,3} (¹岡山大院医歯薬、²横浜市大院生命医科、
³国立衛研、⁴旭川医大)

B-15 ★CPP 修飾とナノ粒子化による PROTAC の効率的デリバリー手法の開発
○宮本真歩^{1,2}、横尾英知²、齊藤公亮²、出水庸介^{1,2} (¹横市大院生、²国立衛研)

B-16 ★アルケンからトリアゾリウム塩の合成
○山川一仁¹、小原優輝¹、住谷陽輔³、王天資¹、緒方翔輝²、原口亮介¹ (¹千葉工大院工、²千葉工大工、³山口大院創成科学)

B-17 ★連続三級炭素を有する *vic*-アミノアルコールの合成法の開発
○坂野有、高嶋しおり、渡邊朋香、若菜倫弥、西田琴美、原口亮介(千葉工大院工)

B-18 ★二次構造に着目した DDS キャリアペプチドの開発
○猪熊 明日子^{1,2}、横尾 英知²、出水 庸介^{1,2} (¹横浜市大院生生命医科学、²国立衛研)

化学系薬学④ C 会場(733 教室)

9:00~10:24

座長 穴田仁洋(武蔵野大薬)、平島真一(東薬大)

- C-19 ★Efficient Synthesis and Structural Control of Cyclic Peptides Utilizing Photo-induced Conformational Changes
○Hongyue Jiang, Yuhe Cheng, Tomohiko Ohwada, Yuko Otani (東大院薬)
- C-20 ★Creating β -strand Peptidomimetic Structures Based on Benzanilide Amino Acid Derivatives
○Yuhe Cheng¹⁾, Takumi Ueda²⁾, Tomohiko Ohwada¹⁾, Yuko Otani¹⁾
(¹⁾東大院薬、²⁾阪大院薬)
- C-21 ★化学選択的ベンジル位 C-H 酸化反応の開発
○中村天麻音、澁谷正俊(日女大理)
- C-22 ★マンガン錯体による触媒的酸素付加型ラクタム構築法
○中村優斗、山本大介、菊本准之介、谷本和優、福池亨太郎、牧野一石(北里大薬)
- C-23 ★酸素置換型シクロペンタジエンを用いる分子内アリル位求核置換反応の開発
○山崎 悠馬¹⁾、大野 美空²⁾、中村 精一²⁾、叶 直樹^{1,3)}、池内 和忠^{1,3)}(¹⁾星薬大、²⁾名市大院薬、³⁾星薬大 医薬研)
- C-24 ★触媒的不斉非対称化を利用した炭素-窒素軸不斉キナゾリン-4-オン誘導体の高エナンチオ選択的合成
○武詩絵、小林未来、齋藤愛実、渡邊ゆうか、北川理(芝浦工大工)
- C-25 ★C-N アトロプ異性 N-(2-ブロモフェニル)キノリン-2-オン誘導体の単結晶で検出されたユニークなハロゲン- π 相互作用
○内堀真衣、村手奈々実、坂上達紀、島佳菜子、北川理(芝浦工大工)

化学系薬学⑤ C 会場(733 教室)

10:24~11:48

座長 高橋秀依(東京理科大薬)、池内和忠(星薬大)

- C-26 ★ヨウ化アリール/スルホニルクロリド/スルホキシド触媒系によるプロバルギルアミド誘導体の環化異性化-アリール化反応
○東海林実和、馬越優貴、坪内彰、齊藤亜紀夫(東農工大院工)

- C-27 ★銅カルベン種を用いたインドール 5 位選択的 C-H 官能基化反応の開発
○磯野友宏、原田慎吾、柳川麻衣、根本哲宏 (千葉大院薬)
- C-28 ★細胞内 α シヌクレインアミロイドの触媒的光酸素化
○黄裕喜¹、岩井篤¹、梅田大輝¹、澤崎鷹³、富澤郁美²、小野麻衣子⁴、樋口真人⁴、
相馬洋平³、堀由起子²、富田泰輔²、三ツ沼治信¹、金井 求¹
(¹東大院薬・合成、²東大院薬・病態、³和歌山県医大薬、⁴量子研)
- C-29 ★Amino-Claisen 転位反応を経由するメタルフリーなインドール合成
○別所孝之助、津端紗絵、坪内彰、齊藤亜紀夫 (東農工大院工)
- C-30 ★イソキサゾール-5-オンを出発原料とした 1,3-オキサジン-6-オン合成法の開発
○飯野雄太、松島恭征、中島康介、平島真一、三浦剛 (東京薬大薬)
- C-31 ★細胞周期タンパク質複合体 APC/C の内在性阻害因子 Emi1 に対するリガンド候補化合物の発見とその合成法の確立
○梶澤菜々香¹、本田香織²、五十嵐開¹、池内和忠^{1,3}、藤本准子¹、山下雄史¹、長田裕之^{2,4}、
川谷誠²、叶直樹^{1,3} (¹星薬大、²理研 CSRS、³星薬大医薬研、⁴微化研)
- C-32 ★5-Geranyloxy-7-hydroxycoumarin 及び Murrayacoumarin A の全合成と抗菌活性評価
○弓場帆乃果¹、栗原崇人¹、齊藤姫奈¹、高屋明子^{1,2}、石橋正己^{1,3}、根本哲宏¹
(¹千葉大院薬、²千葉大真菌医学研セ、³千葉大共用機器セ)

化学系薬学⑥ D 会場(721 教室)

9:00~10:00

座長 青木 伸(東京理科大薬)、北川 理(芝浦工大工)

- D-33 ★HIV 潜伏感染細胞再活性化剤と抗 HIV 剤のハイブリッド分子の創製
○林厚嗣¹、小早川拓也¹、松田幸樹²、辻耕平¹、前田賢次²、玉村啓和¹
(¹東京科学大総合研究院生体材料工学研、²鹿児島大ヒトレトロウイルス学共同研究セ)
- D-34 ★新規 E3 リガーゼリガンドペプチドの探索と BRD4 分解誘導剤への応用
○黄学元¹、辻耕平¹、宮本真歩^{2,3}、横尾英知²、小早川拓也¹、出水庸介^{2,3,4}、玉村啓和¹
(¹東京科学大総合研究院生体材料工学研、²国立衛研、³横市大理、⁴岡山大院医歯薬)
- D-35 ★HIV 膜融合阻害剤を指向したペプチド-低分子コンジュゲートの創製

○野澤恒樹¹、西村壮史¹、小早川拓也¹、辻耕平¹、村上努²、玉村啓和¹

(¹東京科学大総合研究院生体材料工学研、²国立健康危機管理研国立感染症研エイズ研究セ)

D-36 ★In silico スクリーニングを活用した HIV-1 カプシド阻害剤の創製研究

○和田山義虎¹、小早川拓也¹、横山勝²、辻耕平¹、佐藤裕徳²、村上努²、

玉村啓和¹ (¹東京科学大総合研究院生体材料工学研、²国立健康危機管理研国立感染症研)

D-37 ★A β 凝集阻害剤を指向したペプチドミメティックの設計と合成

○福留愛一郎、小早川拓也、山本賢一、有岡万里彩、辻耕平、玉村啓和

(東京科学大総合研究院生体材料工学研)

D -38 ★Photoremovable DmNB Group as a Tool to Modulate Membrane Permeability and Conformation of Cyclic Peptides

○黄芷涵、石井真由美、渡邊恵里、金光佳世子、戴剣平、楠原洋之、大和田智彦、

尾谷優子 (東京科学大総合研究院生体材料工学研)

生物系薬学① D 会場(721 教室)

10:00~11:36

座長 小松靖彦(スノーデン)、井上裕子(日本薬大)

D-1 ★時計遺伝子 BMAL1 は骨格筋のエネルギー代謝を制御する

○岩楯陸、浅野吉政、和田平、榛葉繁紀 (日本大薬)

D-2 ★血糖維持機構における時計遺伝子 E4bp4 の役割

○朴賀硯、浅野吉政、和田平、榛葉繁紀 (日本大薬)

D-3 ★脂肪膵の形成機構解明

○鈴木宙夢、北浦慧、浅野吉政、和田平、榛葉繁紀 (日本大薬)

D-4 ★AKI-to-CKD transition における時計遺伝子 *Bmal1* の役割

○北浦慧、石井宏剛、鈴木宙夢、浅野吉政、和田平、榛葉繁紀 (日本大薬)

D-5 ★PPAR リガンド(医薬品及び内在脂肪酸)の PPAR $\alpha/\delta/\gamma$ 活性化 Profiling

○本多彰宏、細田葵衣、柏木野花、八代清香、小森優奈、島村歩実、鎌田祥太郎、石井功
(昭和薬科大学・衛生化学)

D-6 ★無動状態のマウスの中枢と末梢神経活動に対するライスメモリンの効果

○長廣武¹、飯島星南¹、渡部希彩¹、武田錦二郎¹、池谷裕二^{1,2}、松本信圭^{1,2}
(¹東大院薬、²東大 beyond AI 研究推進機構)

D-7 ★CO-1 β 2m 非依存的な HLA クラス I 重鎖の細胞表面発現と糖鎖修飾の解析

○野中麻衣¹、梅澤啓太郎²、三浦ゆり²、伊藤晃成¹、青木重樹¹
(¹千葉大院薬、²都健康長寿医セ研)

D-8 ★NPM-ALK 発現細胞における TGM1 の相互作用分子の同定及び機能解析

○田口想¹、東孝輔¹、田中祐貴¹、小迫英尊²、青山和正¹ (¹慶應大薬、²徳島大)

環境・衛生薬学① E 会場(722 教室)

9:00~9:24

座長 長部 誠(日本薬大)、浦丸直人(埼玉県大)

E-1 ★OVA 誘導性食物アレルギーにおけるプロスタサイクリン合成酵素の機能解析

○山口慧士、本沢駿弥、佐々木由香、原俊太郎 (昭和医大・薬)

E-2 ★マクロファージにおける AhR の欠損は肝臓の脂質代謝異常をきたす

○高恩備、浅野吉政、和田平、榛葉繁紀 (日本大薬)

医療系薬学① E 会場(722 教室)

9:24~11:36

座長 木村正彦(自治医大さいたま医療センター)、井出直仁(日本薬大)

E-1 ★血栓誘発型ウサギ体外循環モデルにおける超音波の血栓形成抑制効果

○小林真理華¹、大沼健太郎¹、山本博之²、澤口能一¹ (¹桐蔭横浜大医工、²愛知淑徳大学食健康科学)

E-2 ★PKC ζ 高発現 luminal B 型乳がんはホルモン療法に十分な効果を示さない

○長島佑夏、野畑花奈、多森翔馬、秋本和憲 (東京理大・薬)

E-3 ★量子ドットを活用した腸管イメージングに基づく薬物の大腸吸収抑制因子の解析

○友永祐子¹、廣崎真帆²、八杉優護²、村山枝美果^{1,2}、加藤由美³、植田泰之⁴、岩竹真弓³、湯川博^{3,4}、野村鉄也¹、小泉直也¹、白坂善之^{1,2} (¹昭和薬大、²金沢大院薬、³名大ナノライフシステム研、⁴QST 量子生命科学研)

E-4 ダバグリフロジンの薬効における時間依存性の検討

○吉岡弘毅¹、天野郁哉²、横田 理³、三浦伸彦⁴、吉川昌江⁵（¹北里大医、²岐阜医療大薬、³国立衛研、⁴横浜薬大薬、⁵金城学院大薬）

E-5 ★Hesperetin のモルモット肺静脈心筋自動能に対する作用及び機序の検討

○斎藤太郎¹、内藤大来夢¹、関舞香¹、尾高椋介²、濱口正悟¹、行方衣由紀¹、田中光¹
（¹ 東邦大薬、² 北里大薬）

座長 千葉健史(順天堂大学)、栗田拓朗(日本薬大)

E-6 ★siRNA リポプレックスの遺伝子発現抑制効果とがん細胞増殖抑制効果に及ぼす正電荷脂質および負電荷高分子被覆の影響

○和田結衣、川野久美、山下由莉、山田紫音、服部喜之（星薬大）

E-7 ★修正エタノール注入法を用いて調製した葉酸 PEG 修飾 mRNA リポプレックスの遺伝子発現効率に及ぼす正電荷脂質と PEG 分子量の影響

○山田紫音、川野久美、服部喜之（星薬大）

E-8 周術期における服薬アドヒアランス低下患者の要因解析と対策の検討

○大森崇行^{1,2}、瀧沢裕輔¹、後藤一美²、中島孝則¹
（¹日本薬科大学薬学部臨床薬剤学分野、²聖路加国際病院薬剤部）

E-9 ★創傷治癒促進を目的としたパパイン含有ハイドロゲル製剤の調製と評価

○過足香音¹、廣瀬香織¹、廣木章博²、田口光正²、花輪剛久¹
（¹東京理科大学大学院薬学研究科、²量子科学技術研究開発機構）

E-10 ★インドメタシン-メトロニダゾール複合体の調製と評価

○渡邊桐子、廣瀬香織、花輪剛久（東京理科大学大学院薬学研究科）

E-11 ★IL-7R 標的 ADC による急性リンパ性白血病の中枢神経系浸潤制御と低侵襲 DDS の開発

○濱田源実^{1,2}、高島大輝¹、安永正浩^{1,2}（¹国立がん研究セ、²東京大院新領域創成科学）

医療系薬学② F会場(723 教室)

9:00~10:24

座長 潮平英郎(昭和薬大)、勝山 壮(日本薬大)

F-12 ★ヒト生体模倣血液脳関門モデルの開発におけるマイクロ流体デバイス

Fluid3D-X®の有用性検証

○福田芽生¹、磯貝隆斗¹、森尾花恵¹、吉岡孝広²、木村啓志³、降幡知巳¹

(¹東京薬大薬、²東京応化工業、³東海大マイクロ・ナノ研究開発セ)

F-13 ★実臨床における抗インフリキシマブ抗体発生の実態調査

○岩船杏南¹、矢島広大¹、増井翔^{1,2}、岡部誠³、津田真弘²、寺田智祐²、嶋田崇史^{1,4}、
米澤淳^{1,2} (¹慶應大薬、²京大病院薬、³京大病院消内、⁴島津製作所)

F-14 ★炎症性腸疾患患者におけるウステキヌマブ体内動態変動因子の探索

○島千尋¹、増井翔^{1,2}、矢島広大¹、岡部誠³、津田真弘²、寺田智祐²、嶋田崇史^{1,4}、
米澤淳^{1,2} (¹慶應大薬、²京大病院薬、³京大病院消内、⁴島津製作所)

F-15 ★蛋白尿発現患者におけるベバシズマブの体内動態の評価

○井上真鈴¹、増田崇^{1,2}、増井翔^{1,2}、矢島広大¹、嶋田崇史^{1,3}、津田真弘²、寺田智祐²、
米澤淳^{1,2} (¹慶應大薬、²京大病院薬、³島津製作所)

座長 岩井彩乃(キリン堂薬局浦和元町店)、千葉輝正(日本薬大)

F-16 ★関節リウマチ患者におけるトシリズマブの血中濃度予測モデルの作成

○鈴木晴之¹、増井翔^{1,2}、中山葵²、矢島広大¹、大西輝³、嶋田崇史^{1,4}、
米澤淳^{1,2} (¹慶應大薬、²京大病院薬、³京大病院リウマチセ、⁴島津製作所)

F-17 ★消化管内浸透圧/水分分泌に起因した薬物吸収変動とその小児特異性解析

○前島彩花¹、堀田和葵^{1,2}、石井智貴²、吉島明日風²、出野杏奈²、出口諄^{2,3}、
野村鉄也¹、小泉直也¹、白坂善之^{1,2} (¹昭和薬大、²金沢大院薬、³沢井製薬)

F-18 ★RNA ポリメラーゼ阻害活性を有する新規ビタミン K 誘導体の創製

○金子達哉¹、岡本実佳²、本間大暉¹、馬場昌範²、須原義智¹

(¹芝工大院理工、²鹿児島大先端研セ)

生物系薬学② G 会場(231 教室)

9:00~10:24

座長 斉藤麻希(医療創生大)、茅野大介(日本薬大)

G-9 ★呼吸鎖機能と解糖系、AMPK シグナル共役機構の癌細胞増殖能維持における重要性

○内田桃子、日暮大渡、中川英嗣、森一憲、柴沼質子 (昭和医大院薬)

G-10 ★PI3K 阻害による脂肪滴関連タンパク質の発現制御と脂肪滴挙動の解析

○三ヶ尻智子¹、牧山智彦¹、青山千紘²、小濱孝士¹、板部洋之¹

(¹昭和医大院薬、²昭和医大薬)

G-11 ★細胞外小胞移行性 motif を利用した siRNA の細胞外小胞への効率的搭載

○木下拓己¹、桂田有梨^{1,2}、平野陽也¹、板倉祥子¹、草森浩輔¹、兵頭健治²、西川元也¹

(¹東京理大薬、²エーザイ株式会社)

G-12 ★ゼブラフィッシュ慢性拘束ストレスモデルにおける脳機能障害は HDL によって緩和できる

○石原麻衣花¹、栗山満里奈²、森結衣花¹、今井晴菜¹、中西伶奈³、村上達也^{3,4}、溝口貴正²、伊藤素行² (¹千葉大薬、²千葉大院薬、³富山県立大院工、⁴京大 iCeMS)

G-13 ★JAK2V617F による MPN 細胞増殖の協調的シグナル制御機構の解明

○長尾美宇¹、芝端和紀¹、中澤洋介¹、多胡憲治²、多胡めぐみ¹ (¹慶應大薬、²群馬大医)

G-14 ★ヒドロキシ尿素による骨髄増殖性腫瘍細胞の増殖抑制機構の解析

○松本昌也¹、齋藤征哉¹、中澤洋介¹、多胡憲治²、多胡めぐみ¹ (¹慶應大薬、²群馬大医)

G-15 ★葉酸代謝機構薬 Methotrexate による TEL-JAK2-STAT5 経路の特異的阻害

○齋藤征哉¹、武田健吾¹、中澤洋介¹、多胡憲治²、多胡めぐみ¹ (¹慶應大薬、²群馬大医)

生物系薬学③ G 会場(231 教室)

10:24~11:36

座長 小幡裕希(国立がんセンター)、櫻田 誓(日本薬大)

G-16 ★加工処理によるショウガ由来ナノ粒子の機能向上と大腸炎治療への応用

○飯塚遼馬、板倉祥子、草森浩輔、西川元也 (東京理大薬)

G-17 ★単離ミトコンドリアを導入した間葉系間質細胞シートの機能評価

○横山大成、板倉祥子、西川元也、草森浩輔 (東京理大薬)

G-18 ★小型細胞外小胞を用いた間葉系間質細胞から肝細胞への分化誘導

○木野村公英、尾花 柊、板倉祥子、西川元也、草森浩輔 (東京理大薬)

G-19 ★がん原性 FGFR2 のオルガネラシグナル, その理解に基づく阻害法開発

○柚木原りさ子^{1,2}、市川翔^{1,2}、岡本卓真^{1,2}、村田貴嗣²、椎名勇²、小幡裕希¹

(¹ 国がんセ、² 東京理大院理)

G-20 ★近紫外 CD と統計的解析手法を用いた抗体医薬品の高次構造評価

○木吉真人¹、大山泰史²、柴田寛子¹、鈴木仁子²、樋口祐士²、津本浩平³、石明子¹

(¹ 国立医薬品食品衛生研究所、² 日本分光株式会社、³ 東大院工)

G-21 生殖細胞系列プロタミン動態を可視化する染色診断技術の開発

○横田理¹、宮宗秀伸²、吉岡弘毅³、北嶋 聡¹ (¹ 国立医薬品食品衛生研究所、² 東京医大・医、³ 北里大・医)

生物系薬学④ H 会場(233 教室)

9:00~10:24

座長 小松生明(日本薬大)、前田貴広(日本薬大)

H-22 ★大腸粘液層の形成における P2X4 受容体欠損の影響

○須藤希望、吉田一貴、青木亮、伊藤政明、松岡功 (高崎健康福祉大学薬)

H-23 ★テアニン投与マウスの記憶成績向上と関連する神経活動

○渡部希彩¹、武田錦二郎¹、長廣武¹、飯島星南¹、池谷裕二^{1,2}、松本信圭^{1,2}

(¹ 東京大学大学院薬学系研究科薬品作用学教室、² 東京大学 Beyond AI 研究推進機構)

H-24 ★低分子化合物によるベージュ脂肪細胞の分化誘導と抗肥満効果の検証

○戸嶋智、高倉勇気、石川千夏、高野博之、山口憲孝 (千葉大院薬・分子心血管薬理)

H-25 ★C15ORF48 による DNA 障害性抗がん剤抵抗性誘導機構の解析

○山中愛海、高倉勇気、勝見優香、河村星香、橋口結衣、高野博之、山口憲孝¹

(¹ 千葉大院薬・分子心血管薬理学)

H-26 ★飽和脂肪酸による細胞ストレス誘導機構の解析

○堀米春花、滝浪珠里、高倉勇気、高野博之、山口憲孝 (千葉大院薬・分子心血管薬理学)

H-27 ★TLR7 刺激誘発 IL-6 産生における P2X4 受容体の関与の解明
○齊藤陵、竹中洋平、北畠和己、月本光俊（東京理大院・薬）

生物系薬学⑤ H 会場(233 教室)

10:24~12:00

座長 木村光利(城西大)、岡田直子(日本薬大)

H-28 ★ビタミン K 変換酵素 UBIAD1 による小胞体関連分解の制御機構
○富岡 涼、佐野翔、須原義智、廣田佳久（芝浦工大院・生命創薬科学）

H-29 ★MK-4 変換反応におけるメチル化酵素 COQ5 の役割と生理機能の評価
○中川胡桃¹、須藤駿太¹、小柳芽生²、須原義智^{1,2}、廣田佳久^{1,2}
（¹芝浦工大院・生命創薬、²芝浦工大・生命）

H-30 ★エネルギー代謝や細胞動態における GTP 制御の重要性
○芦澤大輝¹、大島 将^{2,3}、多田 知真²、廣田佳久^{1,2,3}
（¹芝工大院・生命創薬科学、²芝工大・生命科学、³シンシナティ大・医）

H-31 ★ラクトフェリン模倣ペプチドのコンドロイチン硫酸 E ユニットを介した細胞内取り込みとがん細胞増殖阻害の可能性
○作田美咲、木村将大、佐藤淳（東京工科大学大学院バイオ・情報メディア研究科）

H-32 ★ヒト網膜色素上皮細胞に酸化ストレスが誘導する細胞死機構の解明
○光武稔生¹、佐藤聡^{1, 2, 3, 4}（¹東京理大院薬、²東京理大薬、
³東京理大 総研院 生命のゆらぎ研、⁴東京理大 総研院 データサイエンス医療研）

H-33 ★血管再生を目的とした血管内皮細胞内蔵細胞シートの開発
○谷川慶樹、板倉祥子、西川元也、草森浩輔（東京理大薬）

H-34 ★緑膿菌のアミノグリコシド耐性における多剤排出ポンプ MexY の特定極性アミノ酸残基の役割
○坂入孔明¹、山口大貴¹、鴨志田剛¹、西野 邦彦²、森田雄二¹（¹明治薬大、²阪大産研）

H-35 ★肺がん細胞での放射線誘導性細胞遊走能亢進における P2X7-HMGB1-RAGE シグナルの関与
○安本さくら、北畠和己、田沼靖一、月本光俊（東京理大院・薬）

H-36 ★神経膠芽腫での放射線細胞応答における TRPC6 チャンネルの関与

○佐藤雄大、北畠和己、月本光俊（東京理大院薬）

H-37 *Acinetobacter baumannii* の新規バイオフィーム形成メカニズムの解明

○鴨志田剛、沖啓太、齋藤優、大塚翼、提箸芙蓉、浅見賢音、石野楓賀、山口大貴、森田雄二（明治薬大）